

目次

「ツムグ」そして未来へ「ツナグ」…… 2

第1章 エモい日本文学

1	蜜蜂と遠雷 恩田陸	14
2	コンビニ人間 村田沙耶香	16
3	ステイル・ライフ 池澤夏樹	18
4	蛇にピアス 金原ひとみ	20
5	乳と卵 川上未映子	22
6	女生徒 太宰治	24
7	伊豆の踊子 川端康成	26
8	おとうと 幸田文	28
9	徒然草 兼好法師(吉田兼好)	30
Column	太宰治は逃した “純文学 新人賞” 芥川賞	32

第2章 愛の日本文学

10	ノルウェイの森 村上春樹	36
11	ベッドタイムアイズ 山田詠美	38
12	妊娠カレンダー 小川洋子	40
13	文学部唯野教授 筒井康隆	42
14	風立ちぬ 堀辰雄	44
15	三四郎 夏目漱石	46
16	たけくらべ 樋口一葉	48
17	舞姫 森鷗外	50
18	外科室 泉鏡花	52
19	友情 武者小路実篤	54
20	金色夜叉 尾崎紅葉	56
21	伊勢物語 作者未詳	58
22	蜻蛉日記 藤原道綱母	60
23	源氏物語 紫式部	62
Column	ベテランによるエンタメ 直木賞	64

第3章 泣ける日本文学

24	ツバキ文具店 小川糸	68
25	もらい泣き 沖方丁	70
26	塩狩峠 三浦綾子	72
27	野菊の墓 伊藤佐千夫	74
28	山椒魚 井伏鱒二	76
29	枕草子 清少納言	78
30	万葉集 大伴家持(編纂)	80
Column	ビジネスと書物愛の結晶 本屋大賞	82

第4章 ミステリーの日本文学

31	かがみの孤城 辻村深月	86
32	理由 宮部みゆき	88
33	告白 湊かなえ	90
34	半落ち 横山秀夫	92
35	容疑者Xの献身 東野圭吾	94
36	元彼の遺言状 新川帆立	96
37	歯車 芥川龍之介	98
38	雨月物語 上田秋成	100
39	東海道四谷怪談 鶴屋南北	102
Column	作家の事件簿① “細君讓渡事件”	104
Column	作家の事件簿② “軽井沢別荘心中事件”	105

第5章 SF・ファンタジーの日本文学

40	十二国記 小野不由美	108
41	精霊の守り人 上橋菜穂子	110
42	犬狼都市 濫澤龍彦	112
43	鉛の卵 安部公房	114
44	銀河鉄道の夜 宮沢賢治	116
45	南総里見八犬伝 滝沢馬琴	118
46	竹取物語 作者未詳	120
47	大鏡 作者未詳	122
48	古事記 稗田阿礼・太安万侶(編纂)	124
Column	作家の事件簿③ 刑法175条「猥褻文書の販売」違反裁判	126
Column	作家の事件簿④ 安吾ライスカレー事件	127

第6章 偏愛の日本文学

49	痴人の愛 谷崎潤一郎	130
50	檸檬 梶井基次郎	132
51	つゆのあとさき 永井荷風	134
52	金閣寺 三島由紀夫	136
53	城の崎にて 志賀直哉	138
Column	文学の名言① 知られざる神祕の魔境、背中	140
Column	『背・背なか・背後』より 小池昌代	140
Column	文学の名言② 真実への囚われとウンによるリアリティ	141
Column	『歴史と文学』より 石川淳	141

第7章 美しい日本文学

54	土の中の子供 中村文則	144
55	破戒 島崎藤村	146
56	五重塔 幸田露伴	148
57	山月記 中島敦	150
58	平家物語 作者未詳	152

第8章 作家の書齋

夏目漱石の書齋	156
澁澤龍彦の書齋	158
芥川龍之介の書齋	160
平塚らいてうの書齋	162
与謝野晶子の書齋	164
宮本百合子の書齋	166
佐多稲子の書齋	168
岡本かの子の書齋	170

第9章 文学の風景

伊豆・天城	174
愛媛県大瀬村	176
箱根	178
松山	180
岩手	182
和歌山・紀州・熊野	184
イグナチオ教会	186

第10章 文学と名画

平野啓一郎のドラクロワ	190
三島由紀夫のビアズリー	192
梶井基次郎のアンゲル	194
柳原慧のラ・トゥール	196
筒井康隆のロートレック	198

第11章 作家と猫 作家と犬

猫に跪く愉悦 谷崎潤一郎	202
作家と猫、ここに極まれり!	202
大佛次郎	204
眠れる猫への無償の愛 室生犀星	206
浮世を斜め下から視る猫の眼	206
夏目漱石	208
放浪と野良猫 林芙美子	210
犬への愛情は女性への愛情と等しい	210
川端康成	212
“あの”犬の名作を翻訳 菊池寛	214

作家紹介 216

あとがき 232

参考文献 234

掲載協力 237

イラスト紹介 238

著者紹介 239